＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	長寿社会課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	福祉サービス推進プログラム
施策名	【重点】地域包括ケアシステムの深化・推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	介護予防のための通いの場への参加率	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	7.5	8.0	8.0	8.0
現況値	6.4%	実績値	6.3			
目標値	8.0%	達成率（%）	84.0			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・岡山県地域医療介護総合確保事業（介護分）
・地域包括ケア体制推進総合事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

第9期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画に基づき、必要な介護サービス基盤の整備や介護人材等の育成・確保、各種研修会を通じた市町村職員の資質向上等の取組により、地域包括ケアシステムの深化が図られた。
また、介護予防の推進については、通いの場の好事例を掲載したブックレットの作成や介護予防交流フォーラムの開催などにより県内各地域に介護予防に資する好事例等が広められた。

6 今後の施策推進に向けての課題

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、引き続き、必要な介護サービス基盤の整備や介護人材等の育成・確保等を進める。特に、介護予防に効果が高いとされる週1回以上の体操を行う通いの場について、引き続き参加率の向上に努める。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

		担当部課室	地域福祉課
重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	福祉サービス推進プログラム		
施策名	【重点】福祉・介護の人材確保とサービスの質の向上		

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」登録数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	626	706	786	866
現況値	523事業所	実績値	615			
目標値	866事業所	達成率（%）	89.3			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	3			

3 関連する事業名

・福祉人材確保等推進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

福祉・介護人材の安定的な確保・定着を図るため、福祉人材センターによる就労支援や、介護職場認証評価制度「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」の実施により、働きやすい職場環境づくりを推進した。
また、研修や受入施設への支援を通じ、外国人を含めた多様な人材の福祉・介護職場への定着を図った。
さらに、岡山県介護生産性向上総合相談センターによる相談対応や専門家の伴走支援、補助金を活用したICT導入支援等を実施し、業務の改善や効率化等を進め、職員の業務負担軽減を図るとともに、介護現場の生産性向上による介護サービスの質の向上を推進した。

6 今後の施策推進に向けての課題

高齢化の進行に伴う介護ニーズの増大や労働力人口の減少により、福祉・介護人材の確保は今後一層厳しくなることが見込まれる。このため、関係機関・団体と連携しながら、福祉・介護職の魅力発信や働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、外国人を含めた多様な人材の参入促進や定着支援に引き続き取り組む必要がある。
また、「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」については、認証事業所の取組を積極的にPRし、制度のさらなる普及を図る必要がある。
加えて、岡山県介護生産性向上総合相談センターの利用促進やさらなるICT導入支援を進め、介護現場の生産性向上による介護サービスの質の向上を一層推進する必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	障害福祉課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	福祉サービス推進プログラム
施策名	【重点】障害のある人の自立と社会参加の促進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	障害福祉サービス利用者の一般就労への移行者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	445	905	1,365	1,825
現況値	415人/年	実績値	448			
目標値	1,825人	達成率（%）	100.7			
備考	目標値は2025～2028年度の累計	達成度	4			

3 関連する事業名

・障害者差別解消・共生社会実現プロジェクト事業
・障害者就業・生活支援センター事業
・重症心身障害児者と家族の安心生活サポート事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

障害に対する理解の促進や障害のある人の社会参加の支援に向け、あいサポート運動の推進や県障害者差別解消相談センターの運営、障害者スポーツの振興、手話通訳者・要約筆記者等の養成・派遣等に取り組んだ。
障害のある人の就労支援については、障害者就業・生活支援センターを核として、雇用と福祉が連携した取組を推進した結果、一般就労への移行者数は着実に増加した。
在宅で、医療的ケア児等（重度心身障害児者を含む）の子育てや介護を行う家族の負担軽減を図るため、医療的ケア児支援センターによる相談支援や、医療的ケア児等とその家族が県内どこでも安心して生活できるよう、レスパイトサービスの整備・充実等を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

共生社会の実現に向け、障害者差別の解消や「心」「情報」「物」のバリアフリーの推進等に引き続き取り組む必要がある。
ハローワークや地元企業等と連携しながら、一般就労への移行を促進するとともに、就労定着支援にも取り組み、障害のある人の就労を一体的に支援する。
今後もレスパイトサービスの整備・充実を進めるとともに、支援拠点である医療的ケア児支援センターと連携し、医療的ケア児及びその家族に対する相談や支援に係る体制整備に取り組んでいく。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	長寿社会課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	福祉サービス推進プログラム
施策名	【推進】認知症施策の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	認知症サポーター養成講座受講者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	266,000	280,000	295,000	310,000
現況値	239,789人	実績値	267,971			
目標値	310,000人	達成率（%）	107.5			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	4			

3 関連する事業名

・認知症高齢者を地域で支える基盤強化事業
・VR（仮想現実）システムによる認知症普及啓発事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

認知症に係る専門的な診断を行う認知症疾患医療センターの設置や医療・介護従事者を対象とした研修の実施、認知症サポーターやキャラバンメイトの養成、おかやま認知症コールセンターやおかやま若年性認知症支援センターの設置・運営、VR（仮想現実）を活用した出前研修会による認知症に関する正しい知識の普及等により、認知症の人やその家族を地域で支える体制の整備が図られた。

6 今後の施策推進に向けての課題

高齢化の進行に伴って、認知症の人の増加が見込まれることから、早期の段階からの適切な診断の実施や、診断後の福祉・介護サービスへの円滑な連携の推進、認知症に関する正しい理解に基づく本人と家族への支援等を通じ、地域で支える体制の一層の強化を図る必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	障害福祉課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	福祉サービス推進プログラム
施策名	【推進】発達障害のある人のトータルライフ支援の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	発達障害について身近に相談できるかかりつけ医の数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	370	390	410	430
現況値	323人	実績値	363			
目標値	430人	達成率（%）	85.1			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	3			

3 関連する事業名

・発達障害者地域支援体制サポート事業
・子どもの健やか発達支援事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」を新たに受講した医師数（実人員）は目標をやや下回ったものの、発達障害への対応力を備えた人材の育成を継続的に進めることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」については、発達障害のある子どもの早期発見・早期支援に資するよう、引き続き医療機関への周知に努め、受講者のさらなる拡大を図っていく必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	地域医療推進課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	福祉サービス推進プログラム
施策名	【推進】精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	精神病床における慢性期（1年以上）入院患者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1,972	1,945	1,918	1,891
現況値	2,026人/年	実績値	1,838			
目標値	1,891人/年	達成率（%）	107.3			
備考	2023年時点集計した県内21病院を集計	達成度	4			

3 関連する事業名

・岡山県全世代型アウトリーチ事業
・自殺対策推進事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

・令和3（2021）年3月に策定した第3次岡山県自殺対策基本計画を踏まえ、医療や法律など関係団体による自殺対策連絡協議会の開催や相談窓口リーフレットの配布による自殺対策普及啓発活動、電話相談の実施や人材育成などを行い、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現に向けて取組を推進した。
・精神保健福祉センター、精神科病院（5か所に委託）に精神科医師、精神保健福祉士、保健師等による多職種専門チームを設置し、未治療や治療中断の精神障害者等に対し、訪問等により専門的な支援を実施した。6チームにより延べ407回の訪問を実施。

6 今後の施策推進に向けての課題

・令和8（2026）年3月に策定した第4次岡山県自殺対策基本計画に基づき、県自殺対策推進センターによる相談対応や相談窓口の周知を行うとともに、愛育委員等による声かけ活動や、子ども・若者対応アウトリーチチームによる教育分野への支援を含めた地域の多様な関係機関・団体等と連携した早期対応など、県を挙げて自殺対策に取り組む。
・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を推進し充実させるため、未治療、治療中断の精神障害等に対し、多職種専門チームによる専門的な支援と地域支援者の他機関ネットワークによる重層的な取組が必要である。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	地域福祉課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	福祉サービス推進プログラム
施策名	【推進】困難な問題を抱える女性への支援

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	女性相談支援センターが行う相談支援等の満足度	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	80.0	80.0	80.0	80.0
現況値	－	実績値	89.0			
目標値	80.0%	達成率（%）	111.3			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・困難な問題を抱える女性支援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

日常生活を営む上で様々な問題を抱えて悩む女性へ、問題解決のための支援、助言、必要な情報提供を行うため、面接相談、電話相談、DV夜間・土曜電話相談等を実施し、4,145件の相談を受けた。
また、緊急に保護することが必要な女性について、衣食その他日常生活に必要なものを提供するとともに、安全確保、心身の休養と安定を図るため、116名（うち、同伴児童56名）の一時保護を実施した。
関係機関と連携し、本人にあった地域生活への移行をサポートした。

6 今後の施策推進に向けての課題

女性が抱える問題は、複雑化かつ多様化していることから、支援調整会議等を通じ、福祉事務所、警察、児童相談所、その他関係機関との連携を深めるとともに、各種研修により、相談員等の資質向上を図り、支援体制の強化に取り組む。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	地域福祉課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	福祉サービス推進プログラム
施策名	【推進】共に支え合う地域づくりの推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	包括的な支援体制の整備に取り組んでいる市町村数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	11	13	15	16
現況値	8市町村	実績値	11			
目標値	16市町村	達成率（%）	100.0			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	4			

3 関連する事業名

・重層的支援体制整備事業
・孤独・孤立プラットフォーム事業
・民生委員担い手確保対策事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

地域共生社会の実現に向け、市町村において、地域の特性を踏まえた包括的な支援体制の整備が進むよう、研修会の開催（3回）やアドバイザー派遣（6回）等の支援を行った。
孤独・孤立に悩む人を誰一人取り残さない地域づくりに向け、多様な主体が参画し、連携の基盤となる「岡山県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を設立し、シンポジウム（参加者：約150名）を開催した。
民生委員の担い手を確保するため、サポート体制の構築やICTの活用による業務負担の軽減等、民生委員が活動しやすい環境づくりを、4市町村と連携して支援した。

6 今後の施策推進に向けての課題

各市町村の実態に合わせた包括的な支援体制の整備が推進されるよう、研修会の開催やアドバイザー派遣等、引き続き、市町村の後方支援を実施する必要がある。
「岡山県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」参画団体等と連携・協働を図り、孤独・孤立対策を進めるとともに、民生委員の担い手確保等を通じ、共に支え合う地域づくりの取組を進める必要がある。